

幼児教育コース だより

2019年 2月
No. 9

高知大学教育学部
幼児教育コース 発行

今春、1期生(2015年度入学生)が卒業を迎えます

幼児教育コース1期生の思い出

幼児教育コース1期生12名は、コース開設の2015年4月に入学し、今春(2019年3月)に卒業します。その1期生がこの4年間で学んだこと・経験したことを、「地域子育て支援広場『あそぼーや』」「保育実習」「その他(学生生活など)」の3つに分けて、執筆しました。

◆地域子育て支援広場『あそぼーや』

『あそぼーや』は1年次、『あそぼーや2』は2年次、『あそぼーや3』は4年次に実施

『あそぼーや』は、高知大学朝倉キャンパスの幼児教育実習室を会場に、地域の未就学児とその保護者を対象にして、幼児教育コースの学生が主体となり、計画、実施する地域子育て支援活動です。1学期には、「音楽」「絵本」などといったテーマをもとに、5回の『あそぼーや』を実施しました。入学直後の1年生の6月に第1回『あそぼーや』を実施し、子どもや保護者の方との関わり、活動の展開、環境設定など、何も分からないままでのスタートとなりました。しかし、先生方のご指導や学生同士での話し合いを通して、保育者のたまごとして成長することができたと思います。入学直後から実践力を高める貴重な経験をすることができました。

2学期の『あそぼーや』も、透明シートに絵を描いたり、絵本や音楽で遊んだり、1学期に引き続きテーマの中で遊びを企画し、たくさんの方に来ていただきました。まだまだ保護者の方や子ども達どう関わっていいのかわからないドキドキしながら活動に臨んでいましたが、来てくれた方が活動の中で楽しんでくれることを励みに頑張りました。1学期から一生懸命育ててきた庭の野菜も少しずつ育つようになり、そのおかげで話も広がって、子どもや保護者の方と繋がれたこともとても嬉しかったです。1年次からの『あそぼーや』での経験は、大きな学びとなりました。

『あそぼーや2』は、2年生で行った子育て支援活動です。年間計4回の活動で、1年生の『あそぼーや』のように「〇〇遊び」とテーマを決めて行う活動とは違い、学生が様々な環境設定やおもちゃを用意したうえで、子ども達と自由に遊ぶというものです。私たちが準備したものは、段ボールで作った迷路や、小さなプールの中にちぎった新聞紙を入れた新聞プールなどでした。また、これまで乳児が来てくれることも多かったので、音のなるおもちゃなど、乳幼児両方が楽しめるようなおもちゃも作りました。環境設定が中心となること、保護者・子どもと長く関わることが出来ることが特徴の活動だと思います。

4年生で行った『あそぼーや3』では、参加してくれた子どもやその保護者の方に楽しんでもらえるよう、1期生12名でアイデアを出し合い、活動内容や環境構成を工夫しました。1年生から行ってきた『あそぼーや』での実践的な学びや、保育実習・幼稚園実習の経験を活かして計画を立てました。自分たちが立てたねらいを達成するための手立てや、製作活動に用いる素材の選び方、準備物など、子どもの姿を想像しながら1年生の頃には気付かなかったことにも配慮する事ができたと感じています。

(執筆:幼児教育コース4年 青木・奥宮・中島・野村)



『あそぼーや』の活動の様子(受付、粘土場、制作の活動など)

幼児教育コース1期生の思い出

◆保育実習

(「保育実習Ⅰ」は2年次、「保育実習Ⅱ」は3年次に履修)

私たちが初めて実習に行ったのが、2年生の「保育実習Ⅰ」でした。最初は分からないことが多く、現場の先生方の保育に圧倒され、どうしたらいいのかわからないことばかりでした。保育士という仕事は、見守るということが本当に大切なことで、危険なことが起きないようにするためだけではなく、友達とのやりとりの様子や子どもそれぞれの成長発達を見守った上で、必要な言葉かけや援助を考えているということを感じ取ることができました。10日間という短い期間でしたが、改めて保育士の仕事の楽しさややりがい、子どもへの思いを再確認し、多くのことを吸収することができた実りのある実習でした。

3年生の2月中旬から10日間行われた「保育実習Ⅱ」では、「保育実習Ⅰ」などを経て、課題に思ったことや、まだ達成できていないと思ったことなどを目標に掲げ臨んだ実習となりました。それぞれが希望した保育所で行われたこの実習では、自分で配属クラスを希望し、この実習に臨むまでに掲げた目標を胸に、日々の保育に関わらせてもらったり、担任の先生と相談して実際に指導案の添削も行ってもらいながら、部分実習や一日実習を行ったりしました。昨年度の反省を活かしつつ、今まで培ってきた技術や知識などを総復習できる実習になりました。

(執筆:幼児教育コース4年 川上・桑田)



「保育実習指導Ⅰ(直前指導)」の授業風景

◆その他

(実習以外の授業、サークル活動などの学生生活)

◇ 子ども祭り

私たち幼児教育コース4年生は、1年生の時に「子ども祭り」という学生が主体で開催する小学生を対象とした活動を行いました。幼児教育コースの多くの学生は、折り紙コーナーの担当でしたので、子ども達がイメージしやすいようにテーマを決めて取り組むことにしました。この祭りには、小学校1年生から6年生まで幅広い学年の子ども達が参加します。6年生にとっては簡単な折り紙でも、1年生には難しいものもあるため、実際に折りながら“難しい折り方ではないのか、時間はどれほどかかるのか”等話し合いながら準備を進めていきました。当日は子ども達と楽しく活動することができ、達成感を得ることができました。

◇ サークル活動

私は4年間よさこいサークルに所属していました。所属するきっかけは、大学に入った直後に見た先輩たちのダイナミックで楽しそうな踊りに感動したことでした。そして2年目は、インストという指導者としてよさこいに携わりました。炎天下の中での練習は苦しく、大変なことも多くありましたが、周りの様子を観察しながら場を盛り上げ、チームをまとめていくことの大切さを学びました。また、苦楽を共に乗り越えたかけがえのない仲間を作ることができました。私はこのサークルに入り、大学の授業だけでは学べない、そしてこの時期・この地でしかできない感動や経験をたくさんすることができました。

◇ 授業(実習以外)

私たち幼児教育コースの学生は、4年間を通して、乳幼児の発達や保育技術、家庭への支援等について学びました。大学で行われる座学や実際に保育所に訪問しての保育観察などを通して、幼児教育の知識を深めてきました。また、4年間12名で同じ授業を受講してきたため、12名の関係はより濃いものになったと感じています。特に印象に残っているのは、「子どもの保健Ⅰ」です。その授業では、高知大学岡豊キャンパスで看護学科の学生と共に授業を受講しました。



「子どもの保健Ⅰ」の授業の様子

グループワークでは、看護学科の学生からの意見を聞くことができ、看護の視点から乳幼児について考えることができました。

幼児教育コース1期生の思い出

◇ 部活動

私は4年間アメリカンフットボール部に所属し、マネージャーとして活動していました。1年目は1勝もできず、苦しいシーズンとなりました。しかし4年目には創部初の中四国リーグ優勝という最高の結果を残すことができ、選手には感謝の気持ちしかありません。私はマネージャーをして、周りを見る力を身につけることができました。自分にできることは何か、常に考えながら行動していたからだと考えます。また、怪我の多いスポーツだったので、応急処置についても多くのことを学びました。部活で学んだことを保育者になってからも活用していきたいと思います。

(執筆: 幼児教育コース4年 井戸・今倉・内田・枝崎)



[集合写真]
幼児教育
コース
1期生12名

「出張あそぼーや」に行きました

高知大学教育学部後援の「第3回サマーチャレンジ スクスクール☆2018」の一環として、8月21日(火)に、保健福祉センター香北にて、「出張あそぼーや」を行いました。この活動は、香美市内の小学生を対象に、小学生の健やかな夏休みの居場所作りを促進し、異年齢児間の遊びや他学校区との交流を通じて、子どもたちの創造性、自主性、社会性などを養うことを目的としています。今回は約30名の子どもたちが集まってくれました。

高知大学からは、幼児教育コース1・2年生の15名および教員5名(幼児教育コース3名、美術教育コース1名、音楽教育コース1名)が参加しました。幼児教育コースの学生は、事前に活動内容を考え、準備を行い、4つのコーナーを作りました。

1つ目は、紙パックを四角や三角など色々な形に切り、その中心に穴をあけてタコ糸を通して作る『ぶんぶんごま』です。紙パックに絵を描いたり色を塗ったりすると、こまを回したときに綺麗に見えました。身近にあるものを使って、形や色を工夫して制作から遊びまで発展することができました。

2つ目は、様々な色のモールを使って、動物や虫などの飾りやアクセサリーなどを作る『モール』のコーナーです。参加した子どもたちは、好きな色を組み合わせたアクセサリーを、腕や髪の毛につけて楽しんだり、用意しておいた見本を参考にしながら、もっとすごい動物や虫を作ろうと工夫していました。

3つ目は、花形や雪の結晶に切り抜かれた折り紙にカラーセロハンを貼る、カラフルな『サンキャッチャー』です。太陽や光に照らすとカラーセロハンに光が差し込み、花の形や色がきれいに映りました。カラーセロハンを1色にしたり、何色か重ねたりして色を工夫することができ、自分のオリジナルのサンキャッチャーを作ることができました。

4つ目は、傘袋に紙切れを入れて膨らまし、画用紙で翼を付け、シールなどで自分の好きなように装飾を施して作る『傘袋ロケット』です。学年問わず多くの子どもたちが作って、ロケットに見立てて飛ばして遊んでいました。自分で飛ばして遊ぶだけでなく、友達とより遠くに飛ばす競争などもできます。遠くに飛ばすためにはどうすればいいのか、子ども同士、幼児教育コースの学生と子どもが共に考え合い、交流することができました。

この他にも、『猛獣狩り』『じゃんけん列車』『なんでもバスケット』といったゲームを行い、子どもたちに楽しんでもらうことが出来ました。普段の『あそぼーや』とは違う年齢の子どもたちとの関わりは、私たちにとってとても良い経験となりました。

(執筆: 幼児教育コース2年生一同)



「出張あそぼーや」の活動の様子



「出張あそぼーや」が終わった後の集合写真

地域子育て支援広場 あそぼーやのご案内(2019年度1学期)

高知大学教育学部の地域子育て支援広場「あそぼーや」は、以下の日程で皆さんをお待ちしています。大学生のお姉さん・お兄さんと一緒に、遊びましょう！

NO	月日	曜日	主な活動	対象年齢	申込期間
1	5/24	金	いろいろな素材を使って、切ったり貼ったりして楽しもう！	3歳以上	5/13-5/20
①	6/5	水	お姉さん、お兄さんと遊ぼう！ママごとやおもちゃ作り等、自分の好きな遊びを楽しもう！	未就学児	申込不要
2	6/14	金	広い体育館で思いきり遊ぼう！	未就学児	6/3-6/10
②	7/3	水	お姉さん、お兄さんと遊ぼう！ママごとやおもちゃ作り等、自分の好きな遊びを楽しもう！	未就学児	申込不要
3	7/5	金	たくさんの粘土で遊ぼう！	3歳以上	6/24-7/1
4	7/26	金	歌とリズムで楽しもう！	未就学児	7/16-7/22

※上記日程表の①②は「あそぼーや2」です。「あそぼーや2」の詳細は下記のとおりです。

【参加方法】準備の都合上、上表の申込期間中に以下のメール記入事項(1)～(5)を入力いただき、asoboya@kochi-u.ac.jpまで、お申し込みください。参加希望のメールが届きましたら、こちらから返信をいたします。申し込み最終日翌日が過ぎても返信が届かない場合は、ご面倒ですが下の問い合わせ先へご連絡ください。

【メール記入事項】

- (1) 件名：あそぼーや参加希望、(2) 参加希望日、(3) お子様について：お名前・ふりがな・年齢・性別、(4) 保護者の方について：お名前・住所・電話番号、(5) 大学広報使用のための写真掲載の可または不可

【対象】 高知市近郊在住の未就学児とその保護者(お子様だけの参加はご遠慮ください)

【時間】 15:00～16:00

【集合場所】 高知大学教育学部1号館1階幼児教育実習室
(集合後、各活動の教室へ移動する場合があります)

【持ち物】 水分補給のための飲み物、お子様の着替え・おむつ等必要なもの

【服装】 お子様も保護者の方も、汚れてもよい服装でお越しください。
特にNo1, 2, 3の活動は着替えが必要です。

【参加費】 年間保険代等300円(年度初参加時のみ1回徴収)

【定員】 20名程(活動場所の広さの都合上、定員を設けております。ご了承ください)

【問い合わせ】 「あそぼーや」についてのお問い合わせは、asoboya@kochi-u.ac.jpまで



☞あそぼーや2(ツー)は、学生が遊びを企画する「あそぼーや」と異なり、お子様が幼児教育実習室にあるおもちゃを使って自由に遊んだり、昨年度「あそぼーや」を担当した大学生と一緒に遊んだりします。「あそぼーや2」に参加される場合、申し込みは必要ありません。

☞保育相談

「あそぼーや」実施日に、幼児教育コース教員が子育ての悩み等についてご相談をお受けする「保育相談」を実施します。お子様は「あそぼーや」の活動に参加し、別室で保護者の方のご相談をお受けすることもできます。相談を希望される方は「あそぼーや」の活動日の7日前までに、(1) 件名：保育相談(2) 希望する相談日<①第1希望日、②第2希望日>(3) 保護者のお名前(4) お子様のお名前、年齢、性別(5) 相談の簡単な内容を下記のアドレスへメールでお知らせください。希望者が多い場合には、他の「あそぼーや」の日程を提案させていただきます。なお、「あそぼーや」に来ていただいた際に予約をすることもできます。

連絡先(E-Mail): asoboya@kochi-u.ac.jp

高知大学教育学部 幼児教育コース
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 TEL 088-844-8368